



日本表面化学株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町 20 番地 21
インテック 88

Tel.03-5367-6381 Fax.03-5367-4545

www.jasco-kk.co.jp

Work



Life

個人が主役になれる、
それが JASCO の働き方



Balance

with new normal

日本表面化学株式会社



JASCO が考える「ワーク・ライフ・バランス」

皆さんは就職を単なる仕事探しと考えていませんか？ じつは就職は仕事選びだけでなく、人生を決める大きな分岐点になります。そんな大切な時期を迎えている皆さんに、わたしたち日本表面化学 (JASCO) が伝えたいのは、長い人生を考えて就職活動をしていただきたいということ。仕事と生活のどちらか一方でも充実できなければ、豊かな人生は送れないからです。仕事と生活をバランスよく保ち、両方が充実することで初めて豊かな社会人生を送ることができます。わたしたちは創業以来、独立資本の非同族会社であり、個々の社員が「自分たちの会社」という強い想いを持つ企業風土があります。会社もそんな社員の想いに応えるため、社員が充実した人生を送れるように各種制度を整えて、個人の自主性を大切にしたい経営を心がけてきました。その結果、社員一人ひとりが自分の夢や目標を持ちながら仕事に打ち込み、そしてプライベートも満喫しています。このパンフレットでは「ワーク・ライフ・バランス」のある環境の中で使命感を持って仕事に携わり、プライベートをイキイキと楽しむ若手社員が登場しています。そんなひたむきな彼らの声から JASCO ならではの「ワーク・ライフ・バランス」を感じてください。個人が主役になれる会社・JASCO で働く楽しみが見つかるはずです。

当社は 1968 年の創業以来、金属の表面処理を通して社会のニーズに応え続けてきました。あまりイメージがわからないかもしれませんが、金属に加工を施すことで、見栄えを整えるだけでなく長く使用できるようになるのです。人々の生活に欠かせない自動車や家電、スマートフォンなど、私たちの身の回りの多くのものに使用されている、社会貢献度の高い仕事といえるでしょう。

こうした事業を行う上で、私たちは「表面処理薬剤を通し、社員の生活とお客様との信頼関係を守る会社 JASCO」という理念を掲げています。この理念は、社員全員で丸となって突き進んでいくため、会社全体で決めたものです。社員全員の諦めない心が、これまで何度もお客様のご要望を叶えてきました。こうした姿勢が当社の根幹を支えています。

お客様のご要望を叶えるためには、社員が最大限の力を発揮できるような環境を整えることが大切です。仕事の提案や有給の申請など、上司に対して発言しやすい風土が根付いています。私自身も社員から直接要望を受けることがあるのですが、そうした生の声に耳を傾け、希望を実現していくことが私の役目です。

また、プライベートの充実が仕事の充実にもつながるため、ワークライフバランスがとれる環境づくりにも注力しています。社員の皆さんには、自身の生活を大切にしながら成長していただき、公私共に充実した生活を送ってほしいです。

当社では働きやすい環境の中で多くのことを学ぶことができます。公私ともに楽しみたいという方は、ぜひ私たちの仲間となって一緒に挑戦していきましょう。

代表取締役社長 和田 茂与



JASCOはこんな会社です!

—JASCO の「経営方針」 社員は家族という経営を貫く

- 独立資本の非同族会社で、自己資本率 90%以上を実現しています。次代の変革に対応できる堅固な基盤を有しています。
- 社員持株制度により、全株式を社員と役員で所有。ここまで毎年 10%の配当の実績があります。これが「自分たちの会社」という強い想いにつながっています。
- 業務管理制度によって、売上、経費、利益等を公開。社員と会社は透明で健全な信頼関係を築いています。
- 連年で 20 年以上にわたって決算賞与を支給しています。会社の利益

- を社員に還元する、これも「自分たちの会社」になる大きな理由です。
- 健全な財務によって取引銀行から高い評価を受けるとともに、税務署からも優良申告法人として表彰されています。
- 神奈川県優良工場として表彰されています。
- 充実した福利厚生に加え、5年に1度は全社海外旅行も行っています。

—JASCO の「技術」 優れた技術で多彩な顧客を開拓する

- 鉄の防錆目的でもっとも利用されている「亜鉛めっき関連技術」において業界トップの実力を保有しています。

- 多くの自動車メーカー、部品メーカーから大きな信頼と期待が寄せられています。
- 次代に対する責任と次の繁栄を築く環境対応製品の開発を実践しています。有害物質を除去しながら優れた品質を実現しています。
- グローバルに敏感なのも JASCO の特徴。海外に合弁会社やライセンス企業を設立させ、北米、欧州、アジア各国に製品を供給しています。
- 他社に先駆けて革新的な技術、新システムを提案することにより、高い注目を集めています。



Y.T
R&D センター
研究グループ 2 課
2018 年入社

幅広い知識を身に付け 社会に役立つ 研究がしたい



私は就職活動において、社会の役に立つ研究がしたいと考えていました。そんな中、幅広い産業の製品づくりに貢献している当社の技術に魅力を感じ、入社を決意。現在は主に、自動車部品に多く用いられる亜鉛ニッケル合金めっき用の薬剤開発に携わっています。初めは1リットルに満たない少量で性能を確認し、問題なければスケールを上げていくという流れで研究を進めています。同じ製品をつくろうとしても設備や環



境の違いで失敗することもあるので、そこが難しいところです。そんな時は仮説と検証を繰り返しながら実験を進めるので骨が折れますが、そこが研究の面白いところでもあります。また、表面処理に求められる性能は日々変化し、特にEV化によって自動車部品の表面処理技術は新しいものが求められるでしょう。そういった変化に対応し、当社の製品を選び続けていただくために、今後はより広い知識を身に付けていくことが目標です。

先輩とのキャンプで プライベートも 交流を深める



茅ヶ崎は鎌倉や箱根、横浜などへのアクセスも良いため、休日は観光や買い物などを楽しんでいます。学生時代の友人が茅ヶ崎に遊びに来てくれたときには、海沿いのお店に食事に行くこともあります。また、友人だけでなく、会社の方と過ごすことも多いです。プライベートでも仲が良いので、年に数回先輩方とキャンプしています。比較的プライベートの時間を確保しやすいため、資格取得に向けた勉強も行っています。合格と自身のスキルアップをモチベーションに、仕事が終わった後や土日の時間で勉強を進めることが多いです。



私が感じるJASCOならではの「ワーク・ライフ・バランス」 独身寮で新社員も安心

私は独身寮規定が魅力的だと感じています。これは新社員が一人暮らしを始める際に、会社が寮費としてアパートの賃料の8割以上を負担してくれる制度です。私もこの制度を利用したのですが、新生活を始めるうえで金銭面の不安が和らぎました。その他、1時間単位での有休取得が可能な点や、在宅勤務を行うことができる点も特長です。1時間単位の有休は、通院や子どもの保育園の送り迎えなどで使用する人が多いです。私自身歯医者さんの通院で利用していましたが、有休をあまり消化せずに済んだので助かりました。また、業務内容に応じて在宅勤務を選択できるので、日々働きやすい環境の中で研究に従事できています。

ここが JASCO

塗料
アルミニウムボディ

当社の処理剤で防錆処理を施したアルミニウムは、デジタルカメラの筐体にも使われます。剛性が高く軽いアルミニウムは、デジカメにはぴったりですが、精密機器だけにさびは大敵です。防錆と塗料密着性の優れた下地皮膜の上に塗装するので、塗料の剥がれが良いことも条件。タフで美しいカメラのボディに欠かせない技術です。



A.T
品質管理部
品質保証課
2020 年入社

最後の砦として 品質を守る、 責任ある仕事



学生時代、薬学研究科に所属していた私は、そこで得た化学知識を活かした仕事をしたいと考えていました。その中でもワークライフバランスが整っていた当社に入社を決意。現在は品質管理部で、工場製造品の「検査業務」と「製品サンプル作成業務」を行っています。検査業務は、工場で製造された製品が規格に準じたものであるかを検査・分析する仕事です。当社の品質を守る最後の砦であるため、1日50品目の製品を一つひとつ慎重に検査しています。またサンプル作成業務では、弊社の製品を試してみたいお客様のために、少量のサンプルを製造する仕事をしています。私が見つけたものがきっかけでお客様に製品を気に入っていただけて、定期的に購入いただけるようになると、やっぱりうれしいですね。自分が製作に携わった商品が世に広まるやりがいを感じながら、日々の業務に当たっています。今後はさらに知識を身に付け、品質管理の仕事を一通りこなせるようになりたいです。



遊びも勉強も! バランスのとれた オフタイム



休日は妻とショッピングに出かけたり、友達とオンラインゲームをして過ごしています。オンラインゲームは大学時代の友人と定期的に行っています。あらかじめゲームする時間を約束しておくのではなく、その時集まったメンバー2・3人で対戦することが多いです。プライベートの時間はしっかりとることができているので、友達とのゲームにも参加しやすいと感じています。また残業がほとんどないため、就業後の時間を活用して資格試験に向けて勉強することもあります。最近勉強しているのは、危険物や品質管理、環境に関わる資格についてです。基本的には寝る前の30分〜1時間で本を読むことを習慣にしている、試験日が近づけば土日に時間をとって勉強しています。



私が感じる JASCO ならではの「ワーク・ライフ・バランス」 仕事とプライベートのメリハリがつけられる環境

当社の一番の魅力は、仕事とプライベートがしっかり区別されているところです。「仕事は仕事」と割り切っている人が多く、プライベートを大切にできる風土が根付いています。残業もほとんどないので、基本的には自分の仕事が納期に間に合うようなスケジュールを組み、定時退社することを心がけています。また、研修制度も充実していると感じています。入社時から2か月間、当社の事業内容や実際の業務内容など、基礎から知識を身に付けることができます。その後各部署に配属されるのですが、1・2年は先輩に付きながら仕事を覚えていくので、安心して業務に当たることができます。

ここが JASCO

Znめっき+化成皮膜
鉄製部品

クルマのエンジンに取り付けるパイプやボルト、あるいは燃料系部品、ブレーキ部品などに使用されているのが亜鉛系めっき。亜鉛系めっき関連技術では業界トップクラスの実力を誇り、防錆などの表面処理を施してクルマに不可欠なそれぞれの機能を守っています。



G.K
北関東営業所
2016年入社

真摯な対応で長期的な信頼関係を築きたい



学生時代に理学部化学科に在籍していた私は、化学メーカーに就職したいと考えていました。営業を選んだのは、一人で突き詰めて研究を進めるよりも、外に出て多くの方とかわりながら働く方が自分に合っていると感じたからです。主な仕事内容は金属表面処理薬剤を販売すること。弊社の薬品を使用しているお客様だけでなく、問い合わせやご紹介を受けて訪問することもあります。また、製品をご購入いただいている企業様を定期的に訪問し、困りごとがないかを確認して



ます。先日ご相談を受けたものでいうと、30℃に維持しなければならない薬品が規定値を超えてしまうというものがありません。当社の管轄外ではありますが、薬品を管理する機械の検査を行ったところ、機械トラブルだと分かりました。このように目下の利益ではなく長期的な信頼関係を築くことで、将来的には「あなたから製品を購入したい」といってもらえるような人材になりたいです。

立地を活かしたアウトドアスポーツを楽しむ



北関東営業所のある群馬県は、自然が豊かなうえ手頃な価格でスポーツが楽しめるので、アウトドア派にはぴったりな場所です。私自身、冬にはスノーボードを楽しんでいます。自宅からスキー場までの距離は車で数時間。朝3時に家を出て、早朝からまっさらな新雪の上を滑るのは、とても気持ちがいいですね。スノーボードのオフシーズンにはゴルフを楽しんでいます。友人と行くことがほとんどですが、たまに先輩方に誘ってもらったり、良いリフレッシュになっています。実家は神奈川県ですが月に2回ほど帰省できているので、家族や地元

の友人とも定期的に顔を合わせることができています。



ここが JASCO

塗料 → サッシ枠

家やマンション、オフィスビルのサッシの枠にもJASCOの処理剤は利用されています。サッシ枠の材料であるアルミニウムの防錆や耐食性を高めるためにも表面処理剤は不可欠。快適で豊かな生活のためにも当社の表面処理技術は貢献しているのです。

私が感じるJASCOならではの「ワーク・ライフ・バランス」安心して休暇を取りやすい業務体制

- 当社の魅力は、休暇を取りやすい仕組みが整っているところ。たとえば営業部の場合は地区ごとに担当が決まるのですが、それぞれの地区に対して二人体制で営業活動に臨んでいます。そうすることで一方が不在の場合はもう一方がフォローに入れるため、安心して休暇を取ることができます。普段休みを取るときは、お客様に迷惑が掛からないよう調整したり、事前に他の社員に相談しますが、体調不良などのイレギュラーな事態でもフォローしてもらえる体制が整っているため、無理に出勤する必要はありません。日々情報を共有しながら業務にあたることで、互いに支えながら仕事ができていると感じています。



on

N.Y
管理部
2022年入社

働きやすい環境でやりがいのある仕事ができる

就職活動において幅広い企業を検討していた私は、人事の方の丁寧な対応に惹かれて当社への入社を決めました。一次選考から私一人に対して4名の方が面接してくれるほど採用に力を入れている様子を見て、入社後のサポート体制も整っているのではないかと感じたんです。実際に働いてみても、入社後の研修や資格支援制度が整っていて日々の業務に励みやすい環境でした。現在私が担当しているのは経理の仕事です。主な仕事内容は、請求書の支払いと得意先からの入金を各拠点に報告すること。少しでも間違いがあると決算で誤差が大きくなってしまふ、責任ある仕事です。作業ミスが起こらないように、自分でリストをつくって入力ミスや見落としがないか、一つひとつチェックしています。自分の仕事の成果は、月末全社に公開される財務表を通して見ることができます。実際に目にしたときは大きな達成感を得られるので、それが仕事のやりがいにつながっています。



off

友人とアクティブに過ごしてリフレッシュ!

休日は自宅で過ごすよりも、学生時代の友人と出かけることが多いです。日帰りで旅行やテーマパークに行くなど、アクティブに活動しています。友人の中には土日休みではなかったり、休みを取得しづらいと話す人もいます。企業によってはプライベートを大切にできないところもあるかと思いますが、当社は休日に仕事をしなければいけないことはなく、休日は自分の時間を優先させられる環境です。そのため、友人との予定も合わせやすく、連休を活かして旅行に行くこともできます。残業もめったにないので、帰りに同期と食事に行くなど、プライベートを充実させていると感じています。



ここが JASCO

塗料
ポディー

携帯電話のボディを守る筐体部分やプリント基板部分にも当社の表面処理剤が使用されています。筐体では耐食性や塗装密着性を高め、電磁波から守る表面処理剤も開発。またプリント基板では電子回路の形成に欠かせない処理剤を提供しております。

私が感じるJASCOならではの「ワーク・ライフ・バランス」先輩が優しく支えてくれる

- 当社は、仕事もプライベートも大事にできる環境です。休日はもちろん、就業後の時間も有意義に過ごしています。時には仕事量が多く、定時を過ぎてしまふようになる時もありますが、そんな時は先輩が声を掛けてくれます。先輩に相談することで、作業方法を教えてくれたり、手伝ってくれるので、1人で仕事を抱え込むようなことはありません。先輩には、分からないことがあれば教えてもらったり、私が作業したものを確認してもらったり、毎日の業務で支えていただいています。日々の業務で教えていただいたことをメモしながら仕事を覚えて正確に作業し、先輩に褒めてもらえるともうれしいです。

E d u c a t i o n & W e l f a r e

研 修 制 度

実践的なプログラムが特徴の JASCO の研修制度

当社では、外部のコンサルタントを招いて階層別のマネジメント教育を積極的に行っています。名称は JFS (ジャスコ・フューチャーズ・スタディー)。その名が示す通り当社の未来を切り拓き、将来の会社経営を担う人材の教育制度です。

「コミュニケーション」「コーチング」「メンバーシップ」「リーダーシップ」「フォローアップ」から問題発見、問題解決などのビジネススキル習得を通じて、マネジメントの基礎を身につけ、さらに応用力も養います。しかも若手社員が会社の将来のビジネス

モデルを提案するというプログラムや研修結果は役員会でプレゼンテーションするなど、より実践的な内容で展開しています。研修終了後には多くの社員が、自らのスキルアップを実感し、仕事に活かしています。

階層別研修制度のイメージ図



福 利 厚 生

多彩な部活動で活力を育む JASCO の福利厚生

当社の福利厚生の最大の特徴は充実した部活動にあります。「つり部」「ゴルフ部」「テニス部」など、多彩な部活動には多くの社員が参加しています。とくにつり部とゴルフ部は大所帯。つり部は船をチャーターすることもあるほどです。つりを楽しんだ後



はその場で焼き上げて食べるのがまた格別です。ゴルフ部は約半数の社員が所属する最大の部活動で、年1回ゴルフコンペも開催しています。さらに5年に1回の全社員参加の海外旅行など余暇を仲間たちと楽しむ機会を数多く設けています。

万全の「品質管理」と「地球環境維持」に取り組む

ISO9001 認証 平成10年全社取得

品質の高い製品づくりを目指して、ISO9001 を平成 10 年に全社取得をしました。品質管理や品質保証のための国際標準モデルとして ISO (国際標準化機構) によって制定された ISO9001 は、モノづくりを行うメーカーにとってお客様から信頼を得るためには不可欠なもの。当社では早くから ISO9001 を取得して、万全の品質管理体制で、付加価値の高い製品の供給を通して顧客満足度の向上を図っています。

地球のために
暮らしのために

ISO14001 平成14年茅ヶ崎工場取得

製品やサービスの環境負荷の軽減などの環境パフォーマンスの改善を継続できるシステムをつくるための規格が ISO14001 です。ISO14001 制定の背景には産業界が持続可能な開発を行うことで、地球環境保全のための組織責任を果たすことがあり、当社でも平成 14 年に茅ヶ崎工場で取得し、環境に配慮した製品製造を実施しています。品質の高さはもちろん、環境に配慮した製造工程などで地球環境保全にも貢献しています。

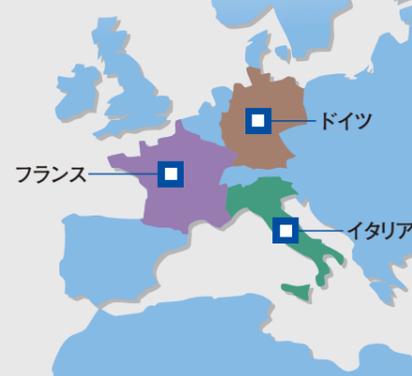
G l o b a l N e t w o r k

世界のニーズに応えるグローバル企業へ

現在当社は活動の場を世界へと急速に広げています。成長著しい中国はもちろんのこと、タイ、ベトナムにも合弁会社を設立。台湾、韓国、シンガポール、インドにも拠点を設立しています。現地に進出した日系企業とはもちろんのこと、中国、韓国などの海外企業との取引も増加させ、グローバル企業としての歩みを加速しています。文化や習慣の異なる人たちと出会い、世界を舞台に仕事をしたい、そんな情熱に応えられるフィールドがここにはあります。



Europe



North America



文明の発展に貢献 さらに進化する“めっき”技術

美しい輝きをもたらしたり、さびを防いで、金属をさらに便利なものにするめっき。
ときに人類の文明の発展を促し、また新しい技術によって、
さらに高度なめっき手法が開発されてきました。
いまやめっきは生活のあらゆる場所で欠かせない技術となっています。

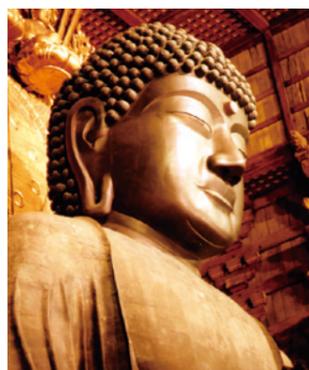
[めっきの歴史]

紀元前1500年にはめっきが誕生?

めっきは古代メソポタミアで生まれたといわれています。アッシリアでは、紀元前1500年頃、スズが使われていました。スズは加熱すると溶けやすい金属なので、鉄に薄く塗って、さびを防ぐのに用いられていたといわれています。

紀元前1000~250年頃には、中央アジアの広い範囲で金を水銀に溶かして青銅の表面に塗った後、加熱して水銀を蒸発させて金めっきする方法が普及していたことを示す証拠が多数確認されています。中国でもこの手法が普及し、春秋・戦国時代(BC722~BC256)には、めっき品が出現します。3世紀ごろには、仏教の広まりを背景に、金めっきをした仏像が盛んに作られました。

日本にめっきが登場したのは、4世紀~7世紀の古墳時代。地位の高い人を葬った古墳からは、金めっきが施された馬具や刀剣、銅鏡などが、多数出土しています。日本のめっき史に燦然と輝くのが奈良・東大寺の大仏。前述と同じ水銀を使った金めっきで、高さ16mに及ぶ巨大な仏像の表面をすべて覆うために、約50kgもの金が使われたとされています。多湿な気候の日本で、腐食現象が起きていないのは、丁寧なめっきの賜物。当時の工業技術の高さがうかがわれます。



奈良の大仏

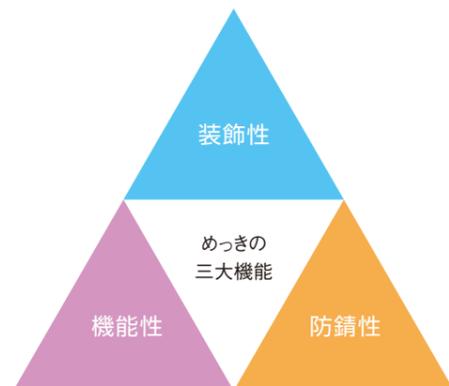
[めっきの用途]

美しい輝きや多様な機能をプラス

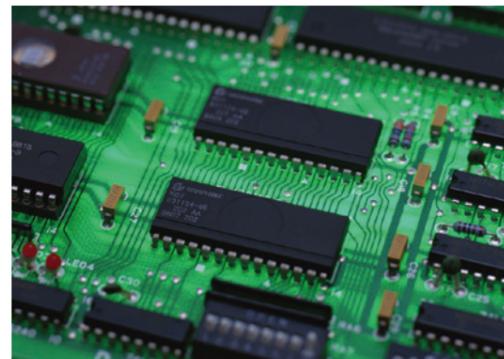
めっきはどのような形で役立てられているのでしょうか。もっともよく知られているのは装飾です。低価格な金属である銅や鉄、あるいはプラスチックの表面を金などでめっきすることで、美しい貴金属の輝きを手軽に手に入れることができます。

一方、さびを防ぐこともめっきの重要な役割です。たとえば鉄はもっとも広く使われている金属ですが、大気中の酸素と水分の存在下で化学変化を起こし、そのままではどんどんさびていってボロボロになってしまいます。そこで亜鉛などを表面にめっきして、鉄がさびるのを防ぎます。ちなみに亜鉛は、実は鉄よりもさびやすい金属です。しかし、亜鉛のさびはきめが細かく、さびると同時に膜状になって、鉄が酸素と水分に触れるのを防ぐのです。たとえ傷がついて下の鉄が現われても、すぐに亜鉛がさびて傷ついた表面を覆い、鉄を守ります。

また、電気を通しやすくしたり、熱に強くする、傷に強くする、薬品に強くする、細かな穴を金属の表面にたくさん作って、潤滑油を保持しやすくするなど、使われる場所や求められる役割に合わせて、さまざまな機能を加えるめっきが実用化されています。



多くの電子機器に欠かせないプリント基板にも、めっきの技術が用いられている。



[めっきの活用例]

エンジンからスマートフォンまで

めっきは身近なさまざまな製品に使われています。装飾めっきでは、まずは宝飾類。かばんや財布の留め具、家具や食器にも、金や銀、真鍮などのめっきが使われ、美しい輝きで持つ人を魅了します。

さびを防ぐめっきは、金属製品の多くに施されています。自動車やオートバイのボディ、看板や屋根などはもちろんのこと、テレビやパソコン、その他電子機器の筐体も、さびを防ぐためのめっきが欠かせません。

一方、電子機器の心臓部であるプリント基盤には、銅などのめっきで電気の通り道が作られています。また、プリント基板では、金属表面にハンダ付けしやすくするために、さまざまなめっき手法が開発されています。

意外なところでは、ステンレス製の鍋やフライパンの底。ステンレスは熱伝導率が低いので、それを補うために、底に銅の厚付けめっきがされています。また、エンジンのシリンダやピストンには、しっかりと油が膜を作るよう、無数の微小な穴をつくる特殊なめっきが施されています。

プラスチック製品にもめっきが多用されています。プラスチックは紫外線に当たるとどんどん劣化しますが、表面をめっきすることでその劣化を防げるのです。



スマートフォン



エンジン

JASCOの強みは優れた研究開発力。つねに技術革新を目指している。



[日本表面化学の活躍フィールド]

防錆めっき技術でトップクラスの実績

日本表面化学は、めっきのなかでも、とくに防錆技術の主力となりつつある亜鉛や亜鉛合金めっきの処理剤で、業界で1、2を争う品質の高さと実績を有しています。

防錆加工は多くの金属製品にとって不可欠な工程で、より効果を高める薬剤の開発に加え、めっき後、その表面を研磨したり、塗装がしっかり乗るようになるための処理剤も開発し、高い評価を得ています。

また、亜鉛めっきや亜鉛合金めっきの表面をクロメート処理することでさらなる防錆効果を向上させる先進的な技術を有しています。

クロメート処理は、主に黄銅、亜鉛、アルミニウムなどの表面に行なわれ、少々の傷なら自己修復してしまう皮膜を作り、なおかつ化学的に磨き上げたツヤのある表面を作ることができ、近年急速に普及しました。しかし、この処理には毒性が強い六価クロムを使用していたため、現在は三価クロムへの置き換えが進んでいます。

日本表面化学は、その三価クロム用の処理剤を多数開発、さらに、クロムを一切使わない「クロムフリー」の防錆皮膜への挑戦も続けています。